

地域密着型金融の取組事例について

タイトル 県域営農経済渉外 (TAC) の取組み

JA グループ熊本 (熊本県)

1. 動機 (経緯)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熊本県の農業においては、生産者の高齢化や後継者不足が進むなか、一方で経営規模の拡大が進み、農業法人や企業による農業参入が増加しています。 ・ このため、平成 21 年 12 月の第 23 回 JA 熊本県大会の決議事項に基づき、これら農業法人等との対話により JA 事業をより深くご理解いただき、また適切なお提案によって JA 事業を幅広くご利用いただくことを目的に、平成 23 年 9 月に「県域 TAC ネットワーク」を構築しました。 ・ この枠組みは、JA 単位の営農経済渉外 (TAC) の活動を補完するもので、県域連合会が相互に連携し、JA と一体となって担い手に「出向く」活動を展開するものです。
2. 概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「県域 TAC ネットワーク」の構成メンバーと活動内容は以下のとおりです。 (1) 構成メンバー JA 熊本県中央会 (営農生活センター) JA 熊本県経済連 (米穀農産部・園芸部・生産資材部・農機燃料部・施設生活部・総合企画部) 全共連熊本県本部 (普及部) 農林中央金庫熊本支店 (県域農業金融センター) (2) 活動内容 農業法人等に関する情報収集・情報共有 農業法人等に対する提案・対話・訪問活動の実践
3. 成果 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 24 年 8 月までに、県域 TAC のメンバー間および JA と連携し、十数社の農業法人等を訪問し、JA グループに対する様々なご意見を伺うことができました。
4. 今後の予定 (課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業法人など担い手のみなさまに、JA 事業へのご理解とさらなるご利用をいただくためには、県域連合会間のみならず、JA と連携した取組みが不可欠と認識しています。 ・ 今後も、県域連合会間の連携、県域連合会と JA との連携、さらには JA 内における事業間での連携を強化し、農業法人等「担い手」との対話に努め、そのニーズに応えられるような体制づくりに取り組んで参ります。

県域TACネットワーク 活動イメージ

